

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度											
				めざす成果および戦略											
項目		成果指標と目標値		計画			自己評価								
				めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策	
							A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない	a:順調 b:順調でない				
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて														
	(1)	豊かなコミュニティの実現													
	㊦	人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上	[3-1] ・多様な主体の連携による地域福祉が進められている状態 ・住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる状態	・地域福祉の取組みに満足している区民の割合:平成29年度末までに70%以上	・地域の実情や要支援者のニーズに応じた地域福祉の取り組みの充実を図る。 ・地域福祉に関する情報発信や啓発を行う。 ・地域の関係団体や専門機関等の連携により、地域福祉課題の解決に向けた検討を行い、取り組みの充実につなげる。 ・在宅療養を支えるため、医療・介護・福祉等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に寄与する。	ア	地域福祉の取り組みが充実してきていると感じる区民の割合:51% (区民アンケート)	65%	A	A	a	アウトカムの達成状況を示す数値は昨年度より低い水準にとどまったので、今後も地域福祉の推進に取り組んでいくとともに、普段地域福祉と関わり合いのない人たちも含んだ啓発に取り組んでいく必要がある。	引き続き地域福祉にかかる事業を推進するとともに、区広報紙等でより多くの区民へ啓発を行っていく。
					[4-1] ・様々な活動主体が地域活動に参画し、地域課題に取り組んでいる状態	・地域の中でつながりを実感している区民の割合:H29年度までに50%以上 ・中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合:H29年度までに50%以上	・地域において、様々な活動主体が参画し、地域特性を活かした地域活動が行われるよう、地域活動協議会への支援を行う。 ・自律的な地域運営を行うことができるように、中間支援組織を活用しての専門的なアドバイスや情報発信、交流の場等の提供を行う。	ア	地域の中でつながりを実感している区民の割合:19% 中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合:64%	15% 64%	A A	A	a	-	-
	(2)	多様な主体の協働 (マルチパートナーシップ) の実現													
	㊦	地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1] ・様々な活動主体が地域活動に参画し、地域課題に取り組んでいる状態	・地域の中でつながりを実感している区民の割合:H29年度までに50%以上 ・中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合:H29年度までに50%以上	・地域において、様々な活動主体が参画し、地域特性を活かした地域活動が行われるよう、地域活動協議会への支援を行う。 ・自律的な地域運営を行うことができるように、中間支援組織を活用しての専門的なアドバイスや情報発信、交流の場等の提供を行う。	ア	地域の中でつながりを実感している区民の割合:19% 中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合:64%	15% 64%	A A	A	a	-	-
	㊧	校区等地域を超えた多様な主体のネットワーク拡充の支援	校区等地域を超えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-2] ・様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用してにぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態	・様々な活動主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合:H29年度までに50%以上	・新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パングーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。 ・東成区の魅力を高めるため、地域の特性を調査し、地域資源を活用し、にぎわいや活気の創造に取り組む。	ア	校区等地域を超えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:27% (区民アンケート)	28.0%	B	B	b	-	-

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度										
				具体的取組										
				計画					自己評価					
項目		成果指標と目標値		取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
									①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった	②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった				
									③:撤退基準未達成					
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて													
	(1)	豊かなコミュニティの実現												
	⑦	人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上	[3-1-1] 「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉活動を推進するとともに、要支援者の個別支援のためのコーディネートを行う。 ・地域福祉活動サポーターの配置:11地域 ・「おまもりネット事業」の周知:約1,400人(65歳到達者) ・地域福祉活動の推進:11地域	・おまもりネットへの新規登録者数:350人	・目標が140人未満であれば事業を再構築する。	平成27年度実績 ・おまもりネット登録者数4,050人(平成28年3月末時点)	・地域福祉活動サポーターの配置:11地域 ・おまもりネット事業の周知:1,108人(65歳到達者) ・区役所1階ふれ愛バンジーにて、おまもりネット事業の相談・説明会開催9回	今年度の新規登録者数:576人	① (i)	○	—	—
					[4-1-1] 地域活動協議会に対する支援を行うとともに、地域情報の発信、交流会等を開催する。 ・地域の会議や事業への参加 ・勉強会・交流会の開催 ・会計の透明性の確保に向けた取り組み:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:12回	・地域活動協議会による地域運営のあり方に満足している区民の割合:60%	・目標が30%未満であれば事業を再構築する。	平成27年度実績 ・地域の会議や事業への参加:472回 ・勉強会・交流会の開催:6回 ・補助金の使途の公表:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:12回	・地域の会議や事業への参加:679回 ・勉強会・交流会の開催:13回 ・補助金の使途の公表:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:13回	地域活動協議会による地域運営のあり方に満足している区民の割合:71%	① (i)	○	—	—
	(2)	多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現												
	⑦	地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1-1] 地域活動協議会に対する支援を行うとともに、地域情報の発信、交流会等を開催する。 ・地域の会議や事業への参加 ・勉強会・交流会の開催 ・会計の透明性の確保に向けた取り組み:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:12回	・地域活動協議会による地域運営のあり方に満足している区民の割合:60%	・目標が30%未満であれば事業を再構築する。	平成27年度実績 ・地域の会議や事業への参加:472回 ・勉強会・交流会の開催:6回 ・補助金の使途の公表:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:12回	・地域の会議や事業への参加:679回 ・勉強会・交流会の開催:13回 ・補助金の使途の公表:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:13回	地域活動協議会による地域運営のあり方に満足している区民の割合:71%	① (i)	○	—	—
	④	校区等地域を超えた多様な主体のネットワーク拡充の支援	校区等地域を超えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-2-1] 区の地域資源を活用し多様な活動主体と地域がつながる「ひがしなり街道玉手箱」を開催する。 ・運営事務局会議の開催:月3〜4回 ・参加団体交流会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者(タマテバコタウン会員)数:150会員	・目標が80会員を下回る場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・運営事務局会議の開催:42回 ・実行委員会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の実施(11月3〜6日:4日間) ・ひがしなり街道玉手箱にかかる広報物の作成(ポスターなど) ・運営事務局会議の開催:38回 ・参加団体交流会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者(タマテバコタウン会員および協賛者含む)数:119会員	② (i)	○	「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」規約の制定や、東成区役所との協定書の締結など、「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」が将来的に自立していくために必要な仕組みづくりはできた。 今後は、多様な活動主体が主体的・自律的に「ひがしなり街道玉手箱」に関わることで、まちづくりなどの地域活動に貢献していけるような支援が必要。	運営事務局会議にかかる支援を継続しつつも、多様な活動主体が「ひがしなり街道玉手箱」を通して、地域とつながることができるよう、参加団体交流会などの支援をより進めていく。
					[4-2-2] 地域課題の解決について市民活動団体等から提案をもらい、協働により取り組む「公募型提案委託」を実施する。 ・区の設定するテーマに基づく事業の公募:1回	・協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した事業数:1事業	・目標が1件もない場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・2件	・公募型提案委託事業件数:1件「私たちの街、東成もり上げ隊」事業(子育て応援サロンの開催:2回、子育てが楽しくなるキラキラ講座の開催:3回、おもちゃ博士とつってあそぼ!の開催:1回)	・協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した事業数:1事業	① (i)	○	—	—
					[4-2-3] ふれ愛バンジーを活用し、東成区のまちづくりが活性化する市民活動に対して助成を行う。 ・補助事業の募集:1回	・当補助金を活用する市民活動団体等の事業:1事業	・目標が1事業もない場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・2事業	ふれ愛バンジーまちづくり活動支援事業補助金交付件数:1件(ひがしなり古典芸能サロンの開催:4回、ひがしなり古典芸能大会の開催:1回)	・当補助金を活用する市民活動団体等の事業:1事業	① (i)	○	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度										
					めざす成果および戦略										
項目		成果指標と目標値			計画			自己評価							
					めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに 対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の 進捗状況	課題	今後の対応方向 ・ 改善策
								A：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない	a：順調 b：順調でない			
(3)	地域資源の循環														
	㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	—	[4-2] ・様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用してにぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態	・様々な活動主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合：H29年度までに50%以上	・新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パンジーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。 ・東成区の魅力を高めるため、地域の特性を調査し、地域資源を活用し、にぎわいや活気の創造に取り組む。	ア	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：27%（区民アンケート）	28.0%	B	B	b	—	—
	㊦	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動（コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス）が創出された件数	H29年度までに1件以上	[4-2] ・様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用してにぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態	・様々な活動主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合：H29年度までに50%以上	・新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パンジーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。 ・東成区の魅力を高めるため、地域の特性を調査し、地域資源を活用し、にぎわいや活気の創造に取り組む。	ア	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：27%（区民アンケート）	28.0%	B	B	b	—	—
	㊦	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに1件以上	[4-2] ・様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用してにぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態	・様々な活動主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合：H29年度までに50%以上	・新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パンジーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。 ・東成区の魅力を高めるため、地域の特性を調査し、地域資源を活用し、にぎわいや活気の創造に取り組む。	ア	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：27%（区民アンケート）	28.0%	B	B	b	—	—
(4)	地域公共人材の充実と中間支援組織の活用														
	㊦	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-2] ・様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用してにぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態	・様々な活動主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合：H29年度までに50%以上	・新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パンジーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。 ・東成区の魅力を高めるため、地域の特性を調査し、地域資源を活用し、にぎわいや活気の創造に取り組む。	ア	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：27%（区民アンケート）	28.0%	B	B	b	—	—
	㊦	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[4-1] ・様々な活動主体が地域活動に参画し、地域課題に取り組んでいる状態	・地域の中でつながりを実感している区民の割合：H29年度までに50%以上 ・中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合：H29年度までに50%以上	・地域において、様々な活動主体が参画し、地域特性を活かした地域活動が行われるよう、地域活動協議会への支援を行う。 ・自律的な地域運営を行うことができるように、中間支援組織を活用しての専門的なアドバイスや情報発信、交流の場等の提供を行う。	ア	地域の中でつながりを実感している区民の割合：19% 中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合：64%	15% 64%	A A	A	a	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度 具体的取組											
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価							
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
									①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	○:有効 ×:有効でないため見直す					
(3)	地域資源の循環														
㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	—	[4-2-1] 区の地域資源を活用し多様な活動主体と地域がつながる「ひがしなり街道玉手箱」を開催する。 ・運営事務局会議の開催:月3〜4回 ・参加団体交流会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者(タマテバコタウン会員)数:150会員	・目標が80会員を下回る場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・運営事務局会議の開催:42回 ・実行委員会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の実施(11月3〜6日:4日間) ・ひがしなり街道玉手箱にかかる広報物の作成(ポスターなど) ・運営事務局会議の開催:38回 ・参加団体交流会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者(タマテバコタウン会員および協賛者含む)数:119会員	② (i)	○	「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」規約の制定や、東成区役所との協定書の締結など、「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」が将来的に自立していくために必要な仕組みづくりはできた。 今後は、多様な活動主体が主体的・自律的に「ひがしなり街道玉手箱」に関わることで、まちづくりなどの地域活動に貢献していけるような支援が必要。	運営事務局会議にかかる支援を継続しつつも、多様な活動主体が「ひがしなり街道玉手箱」を通して、地域とつながることができるよう、参加団体交流会などの支援をより進めていく。		
										① (i)	○	—	平成28年度、ケーブルテレビ「COM」に東成区のモノづくりを取り上げていただくなど、新たな広報手段を得ることができた。今後とも、色々な媒体を通じて情報発信に努め、認知度を高めていきたい。		
㊦	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに1件以上	[4-2-3] ふれ愛バンジーを活用し、東成区のまちづくりが活性化する市民活動に対して助成を行う。 ・補助事業の募集:1回	・当補助金を活用する市民活動団体等の事業:1事業	・目標が1事業もない場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・2事業	ふれ愛バンジーまちづくり活動支援事業補助金交付件数:1件(ひがしなり古典芸能サロンの開催:4回、ひがしなり古典芸能大会の開催:1回)	・当補助金を活用する市民活動団体等の事業:1事業	① (i)	○	—	—		
㊦	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに1件以上	[4-2-2] 地域課題の解決について市民活動団体等から提案をしてもらい、協働により取り組む「公募型提案委託」を実施する。 ・区の設定するテーマに基づく事業の公募:1回	・協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した事業数:1事業	・目標が1件もない場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・2件	公募型提案委託事業件数:1件「私たちの街、東成もり上げ隊」事業(子育て応援サロンの開催:2回、子育てが楽しくなるキラキラ講座の開催:3回、おもちゃ博士とつくってあそぼ!の開催:1回)	・協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した事業数:1事業	① (i)	○	—	—		
(4)	地域公共人材の充実と中間支援組織の活用														
㊦	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-2-1] 区の地域資源を活用し多様な活動主体と地域がつながる「ひがしなり街道玉手箱」を開催する。 ・運営事務局会議の開催:月3〜4回 ・参加団体交流会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者(タマテバコタウン会員)数:150会員	・目標が80会員を下回る場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・運営事務局会議の開催:42回 ・実行委員会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の実施(11月3〜6日:4日間) ・ひがしなり街道玉手箱にかかる広報物の作成(ポスターなど) ・運営事務局会議の開催:38回 ・参加団体交流会の開催:6回	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者(タマテバコタウン会員および協賛者含む)数:119会員	② (i)	○	「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」規約の制定や、東成区役所との協定書の締結など、「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」が将来的に自立していくために必要な仕組みづくりはできた。 今後は、多様な活動主体が主体的・自律的に「ひがしなり街道玉手箱」に関わることで、まちづくりなどの地域活動に貢献していけるような支援が必要。	運営事務局会議にかかる支援を継続しつつも、多様な活動主体が「ひがしなり街道玉手箱」を通して、地域とつながることができるよう、参加団体交流会などの支援をより進めていく。		
	㊦	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[4-1-1] 地域活動協議会に対する支援を行うとともに、地域情報の発信、交流会等を開催する。 ・地域の会議や事業への参加 ・勉強会・交流会の開催 ・会計の透明性の確保に向けた取り組み:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:12回	・地域活動協議会による地域運営のあり方に満足している区民の割合:60%	・目標が30%未満であれば事業を再構築する。	平成27年度実績 ・地域の会議や事業への参加:472回 ・勉強会・交流会の開催:6回 ・補助金の使途の公表:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:12回	・地域の会議や事業への参加:679回 ・勉強会・交流会の開催:13回 ・補助金の使途の公表:11地域 ・広報紙への地域情報の掲載:13回	① (i)	○	—	—		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度												
				めざす成果および戦略												
				計画			自己評価									
項目		成果指標と目標値		めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策		
							A：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない		a：順調 b：順調でない				
2	「自律した自治体型の区政運営」に向けて															
	(1)	区における住民主体の自治の実現														
		⑦	多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-1] ・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画・評価する仕組みが進んでいる状態	・区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合：平成29年度末までに80%以上	・区政会議や区民モニター等の方法により多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。	ア	区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合 34% (区政運営に関するアンケート)	32.0%	A	A	a	区政会議や区民アンケートを通じて、区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合が着実に増加してきているものの、アウトカムを達成するためにはより一層区民に実感してもらえるよう工夫が必要である。	広報紙やホームページを活用して区民の声がどのように区政に活かされているかをわかりやすく広報することにより、区民に実感してもらう。
				区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-1] ・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画・評価する仕組みが進んでいる状態	・区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合：平成29年度末までに80%以上	・区政会議や区民モニター等の方法により多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。	ア	区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合 34% (区政運営に関するアンケート)	32.0%	A	A	a	区政会議や区民アンケートを通じて、区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合が着実に増加してきているものの、アウトカムを達成するためにはより一層区民に実感してもらえるよう工夫が必要である。	広報紙やホームページを活用して区民の声がどのように区政に活かされているかをわかりやすく広報することにより、区民に実感してもらう。
				区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-2] ・区役所からの情報が区民にいきわたり、区役所と区民との情報共有が図られている状態	・区役所からの情報発信により必要とする情報を入手できていると感じている区民の割合：平成28年度末までに80%	・読みやすくわかりやすい表現の魅力ある広報紙を発行する。 ・広報紙やホームページなど様々な広報媒体を活用するとともに情報発信における地域参加により地域課題の解決を図る。	ア	区役所からの情報発信がわかりやすいと感じている区民の割合：76% (区民アンケート)	84.0%	A	A	a	—	—
		④	区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-1] ・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画・評価する仕組みが進んでいる状態	・区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合：平成29年度末までに80%以上	・区政会議や区民モニター等の方法により多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。	ア	区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合 34% (区政運営に関するアンケート)	32.0%	A	A	a	区政会議や区民アンケートを通じて、区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合が着実に増加してきているものの、アウトカムを達成するためにはより一層区民に実感してもらえるよう工夫が必要である。	広報紙やホームページを活用して区民の声がどのように区政に活かされているかをわかりやすく広報することにより、区民に実感してもらう。
				区役所が、区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-1] ・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画・評価する仕組みが進んでいる状態	・区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合：平成29年度末までに80%以上	・区政会議や区民モニター等の方法により多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。	ア	区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合 34% (区政運営に関するアンケート)	32.0%	A	A	a	区政会議や区民アンケートを通じて、区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合が着実に増加してきているものの、アウトカムを達成するためにはより一層区民に実感してもらえるよう工夫が必要である。	広報紙やホームページを活用して区民の声がどのように区政に活かされているかをわかりやすく広報することにより、区民に実感してもらう。

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度 具体的取組											
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価							
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
									①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	○：有効 ×：有効でないため見直す					
2	「自律した自治体型の区政運営」に向けて														
⑦	(1)	区における住民主体の自治の実現													
		多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-1-1] 区政会議において区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。 ・区政会議の開催：2回 ・部会の開催：9回	・区政会議について知っている区民の割合：60%以上	・左記目標が30%未満の場合は再構築する。	平成27年度実績 ・区政会議の開催：3回 ・部会の開催：9回	・全体会議の開催：3回 ・部会の開催：各2回（計6回） ・開催毎に広報紙やホームページによる広報	・区政会議について知っている区民の割合：41%（区民アンケート）	② (i)	○	取組実績については計画どおり実施し、開催毎に広報紙やホームページによる広報を行ったものの、目標の達成には至らなかった。 区民により関心を持ってもらえるように、効果的な広報が必要である。	区民により関心を持ってもらえるように、区政会議開催日の周知だけでなく、会議内容をわかりやすく広報するなど、情報発信の充実に努める。	
					[5-1-2] 区民の多様な意見やニーズを把握するため、区民アンケートや地域担当職員による情報収集を行う。 ・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数：5件	・左記目標が3件未満の場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・区民モニターやアンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数：5件（わかりやすい情報発信の取組み、子どもの体力向上事業の予算化、放置自転車対策、まち歩きの実施、防犯カメラの設置）	① (i)	○	—	—	
					[5-1-1] 区政会議において区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。 ・区政会議の開催：2回 ・部会の開催：9回	・区政会議について知っている区民の割合：60%以上	・左記目標が30%未満の場合は再構築する。	平成27年度実績 ・区政会議の開催：3回 ・部会の開催：9回	・全体会議の開催：3回 ・部会の開催：各2回（計6回） ・開催毎に広報紙やホームページによる広報	・区政会議について知っている区民の割合：41%（区民アンケート）	② (i)	○	取組実績については計画どおり実施し、開催毎に広報紙やホームページによる広報を行ったものの、目標の達成には至らなかった。 区民により関心を持ってもらえるように、効果的な広報が必要である。	区民により関心を持ってもらえるように、区政会議開催日の周知だけでなく、会議内容をわかりやすく広報するなど、情報発信の充実に努める。	
					[5-1-2] 区民の多様な意見やニーズを把握するため、区民アンケートや地域担当職員による情報収集を行う。 ・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数：5件	・左記目標が3件未満の場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・区民モニターやアンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数：5件（わかりやすい情報発信の取組み、子どもの体力向上事業の予算化、放置自転車対策、まち歩きの実施、防犯カメラの設置）	① (i)	○	—	—	
		区役所が、区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。 ・区政会議の開催：2回 ・部会の開催：9回	・区政会議について知っている区民の割合：60%以上	・左記目標が30%未満の場合は再構築する。	平成27年度実績 ・区政会議の開催：3回 ・部会の開催：9回	・全体会議の開催：3回 ・部会の開催：各2回（計6回） ・開催毎に広報紙やホームページによる広報	・区政会議について知っている区民の割合：41%（区民アンケート）	② (i)	○	取組実績については計画どおり実施し、開催毎に広報紙やホームページによる広報を行ったものの、目標の達成には至らなかった。 区民により関心を持ってもらえるように、効果的な広報が必要である。	区民により関心を持ってもらえるように、区政会議開催日の周知だけでなく、会議内容をわかりやすく広報するなど、情報発信の充実に努める。				
④	区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区民の参画と協働による区政運営	H29年度までに60%以上	[5-1-1] 区政会議において区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。 ・区政会議の開催：2回 ・部会の開催：9回	・区政会議について知っている区民の割合：60%以上	・左記目標が30%未満の場合は再構築する。	平成27年度実績 ・区政会議の開催：3回 ・部会の開催：9回	・全体会議の開催：3回 ・部会の開催：各2回（計6回） ・開催毎に広報紙やホームページによる広報	・区政会議について知っている区民の割合：41%（区民アンケート）	② (i)	○	取組実績については計画どおり実施し、開催毎に広報紙やホームページによる広報を行ったものの、目標の達成には至らなかった。 区民により関心を持ってもらえるように、効果的な広報が必要である。	区民により関心を持ってもらえるように、区政会議開催日の周知だけでなく、会議内容をわかりやすく広報するなど、情報発信の充実に努める。	
		区役所が、区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区民の参画と協働による区政運営	H29年度までに60%以上	[5-1-2] 区民の多様な意見やニーズを把握するため、区民アンケートや地域担当職員による情報収集を行う。 ・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数：5件	・左記目標が3件未満の場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・区民モニターやアンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数：5件（わかりやすい情報発信の取組み、子どもの体力向上事業の予算化、放置自転車対策、まち歩きの実施、防犯カメラの設置）	① (i)	○	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度										
					めざす成果および戦略										
					計画					自己評価					
項目		成果指標と目標値			めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策
								ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない		a：順調 b：順調でない		
(2)	区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり														
㊦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	[5-1] ・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画・評価する仕組みが進んでいる状態	・区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合：平成29年度末までに80%以上	・区政会議や区民モニター等の方法により多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。	ア	区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合 34%（区政運営に関するアンケート）	32.0%	A	A	a	区政会議や区民アンケートを通じて、区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合が着実に増加してきているものの、アウトカムを達成するためにはより一層区民に実感してもらえるよう工夫が必要である。	広報紙やホームページを活用して区民の声がどのように区政に活かされているかをわかりやすく広報することにより、区民に実感してもらう。	
(3)	区民が満足・納得できる区役所運営														
㊦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査（5点満点）での点数	H29年度までに80%以上 H29年度までに3.5点以上	[5-3] 窓口業務等において、区民がサービスの向上を実感できる状態	・窓口業務などについてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合：28年度までに80%以上	・来庁者の声を取り入れ、区民サービスの向上につなげるとともに、職員がやりがいを感じて業務に取り組む職場風土を作る。	ア	・窓口業務などについてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合：83%	83.0%	A	A	a	—	—	
㊦	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-2] ・区役所からの情報が区民にいきわたり、区役所と区民との情報共有が図られている状態 [5-3] 窓口業務等において、区民がサービスの向上を実感できる状態	・区役所からの情報発信により必要とする情報を入手できていると感じている区民の割合：平成28年度末までに80% ・窓口業務などについてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合：28年度までに80%以上	・読みやすくわかりやすい表現の魅力ある広報紙を発行する。 ・広報紙やホームページなど様々な広報媒体を活用するとともに情報発信における地域参加により地域課題の解決を図る。 ・来庁者の声を取り入れ、区民サービスの向上につなげるとともに、職員がやりがいを感じて業務に取り組む職場風土を作る。	ア	区役所からの情報発信がわかりやすいと感じている区民の割合：76%（区民アンケート）	84.0%	A	A	a	—	—	
							ア	・窓口業務などについてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合：83%	83.0%	A	A	a	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について（東成区）

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度									
					具体的取組									
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価						
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
									①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 なかった	②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 なかった				
					③:撤退基準未達成									
(2)	区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり													
㊦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	[5-1-2] 区民の多様な意見やニーズを把握するため、区民アンケートや地域担当職員による情報収集を行う。 ・区民アンケートの実施:4回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数:5件	・左記目標が3件未満の場合は事業を再構築する。	平成27年度実績 ・区民モニターやアンケートの実施:4回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域	・区民アンケートの実施:4回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数:5件(わかりやすい情報発信の取組み、子どもの体力向上事業の予算化、放置自転車対策、まち歩きの実施、防犯カメラの設置)	①(i)	○	—	—	
(3)	区民が満足・納得できる区役所運営													
㊦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに80%以上 H29年度までに3.5点以上	[5-3-1] 来庁者に対して「来庁者満足調査」を行い、環境改善に取り入れる。	・区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合:70%以上	・左記目標が50%未満の場合は、事業を再構築する。	平成27年度実績 ・「来庁者満足調査」に寄せられた意見数:32件	・「来庁者満足調査」アンケート記載用紙の收受(34件)	・区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合:83%(区政運営に関するアンケート)	①(i)	○	—	—	
㊦	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-2-1] 様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報を行うとともに、地域参加型の広報紙配布業務を通じて、多様化する地域課題の解決を図る。 ・地域情報の広報紙への掲載:12回 ・広報板の活用:24回 ・区長からのメッセージの情報発信:12回 [5-3-2] 職員の意見や提案を積極的に取り入れ、業務改善につなげる。 ・プロジェクトチームによる業務改善提案の実施 ・情報発信や区民サービス向上のための職員研修の実施	・区役所からの広報に満足している区民の割合:80%以上	・左記目標が40%未満の場合は再構築する。	平成27年度実績 ・地域情報の広報紙への掲載:12回 ・広報板の活用:24回 ・区長からのメッセージの情報発信:24回	・地域情報の広報紙への掲載:12回 ・広報板の活用:24回 ・区長からのメッセージの情報発信:24回	・区役所からの広報に満足している区民の割合:76%(区民アンケート)	②(i)	○	広報の満足度は比較的高い水準で推移(H27 84%→H28 76%)しているが、業績目標の達成には至らなかった。平成27年度から広報紙を全戸配布に変更することで、より多くの区民に届けることができたが、区民アンケートの結果からも若者世代や現役世代への積極的な情報発信が課題である。	わかりやすく読みやすい広報紙づくりに引き続き努めていくとともに、ホームページやツイッター等、多様な媒体を積極的に活用し、更なる情報発信の充実に努めていく。	
㊦					・仕事にやりがいを感じている職員の割合70%以上	・左記目標が50%未満の場合は再構築する。	平成27年度の実績 ・職員と区長の意見交換会の開催:30回開催 ・「区民サービス向上プロジェクトチーム」会議の開催:9回	・区民サービス向上プロジェクトチーム会議:11回 ・全職員を対象にした区民サービス向上のための職員研修(区長ミーティング):56回	・仕事にやりがいを感じている職員の割合:75%(職員アンケート)	①(i)	○	—	—	